



グローバルで気候変動に対応

2023年1月からキューピーマレーシア事業所内で 太陽光発電を開始

海外4事業所合計でCO2排出量を年間で約2,800トン削減予定

キューピー株式会社

キューピー株式会社(本社:東京都渋谷区、代表取締役 社長執行役員:高宮 満、以下キューピー)は、グループ会社であるKEWPIE MALAYSIA SDN. BHD. (マレーシア)に、太陽光パネルを設置し2023年1月から発電を開始します。これにより、年間約410トンのCO2排出量が削減できる見通しです。



キューピーマレーシア事業所内に設置した太陽光パネルの一部

キューピーグループの海外事業所^{※1}では、2018年4月^{※2}にタイ(KEWPIE (THAILAND) CO., LTD.)、2021年12月にベトナム(KEWPIE VIETNAM CO., LTD.)、2022年1月に中国(北京丘比食品有限公司)でそれぞれ太陽光発電を開始しています。

新たにマレーシアで発電を開始すると、年間約410トンのCO2排出量削減が見込まれ、キューピーグループの海外4事業所の合計で、2023年は、約2,800トンのCO2排出量削減を予定しています。

※1 キューピーグループの海外事業所 <https://www.kewpie.com/company/about/group/>

※2 訂正日時 2023年9月29日 15:00

【参考】キューピーグループ日本国内拠点における太陽光パネル設置状況

[キューピーアヲハタニュース 2022 No.120](#) 参照

キューピーグループは、気候変動の原因となるCO2排出量削減のため、海外の事業所においても、省エネの取り組みや再生可能エネルギーへの転換に取り組んでいきます。

■気候変動への対応 <https://www.kewpie.com/sustainability/eco/warming/>